

## 議案第 1 号

# 平成 2 4 年度事業報告

## 1. 概 要

平成 2 3 年 4 月に公益社団法人としてスタートして 2 年目に入り、より一層の透明性、信頼性、公益性のある事業運営が求められた 1 年でありました。

さて、シルバー人材センターを取巻く状況は、景気回復の遅れや円高デフレ状態が続く先行きの見えない社会経済の中、非常に厳しいものでした。

しかしながら、当センターの事業運営は順調に推移し、契約金額は前年度と比べ、公共事業では 1 8 . 4 %、民間事業では 7 . 6 %の伸びを示し、全体として 6 6 5 万円、4 . 2 %の増となりました。会員数も 4 0 2 名となり、前年度に続き 4 0 0 名を超えることが出来ました。

単年度収支では、当初予算では大幅な赤字を見込んでおりましたが、新規受注契約の増加に恵まれた一方で、事務経費等について節減に努めた結果、9 5 万 9 千円の赤字に抑えることが出来ました。

国や京都府からの補助金が削減された中、シルバー事業の運営は大変厳しい状況でありましたが、事業に支障をきたすことなく運営できましたことは、市当局をはじめ市内事業所や市民の方々の大きなご支援並びに役員、会員各位のご努力の賜ものでございます。

今後も景気回復が不透明な中で、センターの運営にとって厳しい局面を迎えることが予想されますが、役員、会員の皆様とともにこの難局を乗り切ってまいりたいと思います。

## 2. 主な事業内容

### ( 1 ) 就業機会の提供

平成 2 4 年度の実績は、延べ 2 , 4 5 2 件、契約金額は 1 億 6 , 4 5 7 万 8 千円で、前年度に比べて件数は 1 0 3 件、4 . 4 %、金額は 6 6 5 万円、4 . 2 %増加しました。また、会員の 9 7 . 5 %にあたる 3 9 2 人の方々が就業されました。

### ( 2 ) 会員の増強と普及啓発活動

広く市民、事業所等にセンターの活動や事業内容を周知するため、下記の活動を実施しました。

広報「むこう」をはじめホームページを通して、当センターの活動や事業内容を掲載し、市民や事業所等に対して受注の拡大、会員の増強の普及啓発

に努めました。

10月15日のシルバーの日に合わせ、10月20日にイオン前及びライフシティ東向日周辺において、役職員による「会員募集並びに仕事の受注」の街頭啓発を実施しました。また、10月22日には、市民温水プールや市民ふれあい広場周辺において役員6名と57名の会員による除草、清掃ボランティアを行いました。

11月17日、18日に開催された「向日市まつり」に出店し、役職員によるシルバー事業の啓発を実施しました。

### (3) 安全・適正就業の推進

事務所において「安全標語」を掲示すると共に、会員の方々が安全の意識を常に持ち、より一層安全就業の充実を図るため、安全委員が就業現場を巡回し、事故防止に努めました。

また、適正で公平な就業を推進するため、一人でも多くの会員に就業の機会を提供できるよう未就業会員の解消に努めました。

### (4) 講習会、研修会の実施

シニアワークプログラム事業（SP事業）を京都府シルバー人材センター連合会と連携して、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に、会員6名、一般市民2名の参加を頂き、「家事援助サービス講習会」を開催いたしました。

会員の日常生活や就業途中での交通事故の防止を目的として、向日町警察署員を講師に招き、「安全な自転車運転・自転車シミュレーションによる模擬運転」について交通安全講習会を実施しました。

### (5) 中期改善計画の策定

我が国の高齢化は、少子化等により今まで経験したことがないスピードで進んでおり、また人口が減少する中で、高齢者の知恵、経験を戦力とする仕組みが必要となってきました。

こうした状況のもとで、雇用就業ニーズが多様化することから、会員の増強、普及啓発、受注開拓等の推進、さらに事業及び運営全般にわたる改善策とセンターのこれからのあり方、目標等を策定するため、中期改善計画策定委員会を設置し、各職種の代表により4回にわたり審議、検討をして頂き、平成24年度から28年度までの5ヵ年計画を策定いたしました。